

資料 1 - ①

新たな経営展望の構成について

経営展望（現行H24～H28）	新経営展望（H29～H33）（案）	主な変更のポイント
I 策定の趣旨	I 策定の趣旨	
II 府市場の現状 1 府市場を取り巻く情勢 （1）消費者 （2）川下事業者 （3）生産者・出荷団体 （4）社会的要請への対応 2 府市場の強みと弱み （1）立地条件 （2）施設・設備 （3）取引の状況 （4）場内業者等の状況	II 府市場の現状 1 これまでの取り組み状況 （1）現行の経営展望の進捗状況 （2）「指定管理者制度の成果」 2 府市場を取り巻く情勢 （1）全国の状況 （2）府市場の強みと弱み ①立地条件、②施設整備 ③市場運営、④取引状況	指定管理者による成果を新たに追加 全国の状況と府市場を比較し、府市場の強み・弱みを抽出 物流ハブの役割を担い得る当市場の強みを強調
III 府市場の将来像 1 開設者、卸、仲卸、指定管理者が一体の「連携と共同の市場」 2 流通の構造変化に対応した「商流をつかめる市場」 3 産地、小売、消費者に支持される「安全・安心の市場」 4 恵まれた立地条件を生かし「競争力のある市場」へ	III 府市場の将来像 ◎恵まれた立地条件を活かした「競争力のある市場」へ 1 開設者、卸、仲卸、指定管理者が一体となる「連携と共同の市場」 2 流通の構造変化に対応した「商流をつかめる市場」 3 産地、小売、消費者に支持される「安全・安心の市場」	関西の拠点など、大目標を明確化 「競争力のある市場」の位置づけを高め、重点化ポイントを明確化
	IV 基本戦略(ビジネスモデルの方向) 1 関西の「生鮮物流ハブ」の機能を担う市場 2 ニーズに対応した「付加価値」を重視する市場 3 「民間能力」をフルに活用する開かれた市場 4 場内外の連携強化で「活性化事業」に取り組む市場 5 場内業者の「自律的な取組」を重視する市場	国の基本方針に基づく「ビジネスモデルの方向」を新たに設定
IV 将来に向けた基本戦略 1 市場外部との連携と情報発信の強化 2 市場内への外部活力の導入 3 定温流通・加工機能の充実 4 清潔で美しい市場づくり 5 安全で環境にやさしい市場づくり 6 災害等に強い市場づくり 7 市場機能の再構築	V 行動計画 1 広域的な集荷・転送・分荷機能の強化 2 コールドチェーン化の推進、加工機能等の充実 3 指定管理者制度の充実、外部活力の導入 4 産地や量販店、大学等との共同事業の展開 5 場内一丸での場内ルール順守の徹底 6 その他	ビジネスモデルを踏まえた具体的な行動計画として再編（その実現方策も含めて記載） 重点化する項目を前に配置 清潔で美しい、安全で環境にやさしい、災害棟に強いといった項目は、その他にまわす 指定管理者制度の充実、ルールの遵守を新規で追加
	VI 施設整備計画 1 機能の維持 2 活性化等の推進	行動計画に準じた位置づけとする工事の進捗をふまえ、現行経営展望の個別メニューを見直す
V 取扱数量の見通しと収支計画 1 今後の取扱数量の見通しと達成目標 2 市場施設の整備計画 3 市場会計の収支計画	VII 取扱数量の見通しと収支計画 1 今後の取扱数量・金額の見通しと達成目標 2 市場会計の収支計画	取扱金額の目標を新たに設定 現実的な数値と適宜見直しを記載 指定管理を含んだものも検討